

# コンテスト入賞作品

## ネイチャー・テクノロジー研究会



「ネイチャーランド」

梶田明子さん 東京都世田谷区・9歳・小学4年  
生物の特性を学んで楽しめるネイチャーランド。クモの糸を使って作られたアスレチック。横糸にさらわれないようにクリアしないといけません。カタツムリに乗って、壁をお散歩できるコース。はこぶぐ型のゴーカート。他の形の物より早く進めることを実感できます。飛び魚の水上スキーは、飛距離も十分でスリル満点です。アメンボの水上散歩は沈まないだけでなく、甘い香りもします。カマキリメガネをかけて、後ろを見て当てるカマキリのあてっこゲーム。実際に、その生き物になって、本を読むだけだった特性を実感できる遊園地です。最後に蝶のグラデーションドレスで、虫が苦手な女子の心もしっかりキャッチします。



「不思議なまち1丁目」

コリンズ来和さん 横浜市神奈川区・7歳・小学2年  
おうちのまわりに自然がいっぱい。木の上に器があって、水がたまっている。空には鳥がとんでいる。すずめ。ぞうさんの上にひよこがのっている。自然の水が出てくる水道。庭に畑があって、買い物に行く必要がない。トマトがとれた。トマト畑からカゴに入れて運ぶ。にんじん畑。海が遠くに見えて。空が沢山あって、雨が降る。野菜が育つ。リンゴがなる不思議な木。夏じゃないのに桃がある。青空。雨が降らない時にも水を使える。お家の人が畑に行く。拾ったうさぎを飼っている。お金はからない。空でないとこでも雨が降る不思議なまち。ぞうさんが絵を描く。絵の具。そしてサルが遊びにくる。バナナもある。ナシ、イチゴ... スイカ畑。暑いときに家に屋根ができる。風は通る。水は通らない。いつも自転車で移動。高級なお家。いいなといわれている。



「楽しい通勤・通学」

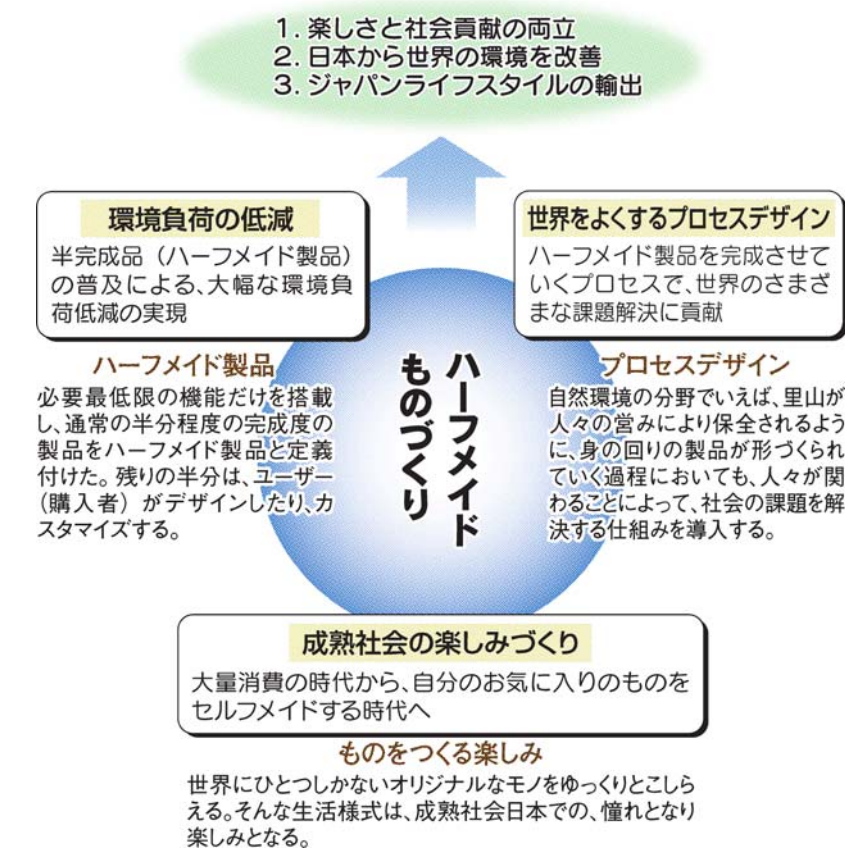
山下紗佳さん 東京都町田市・12歳・中学1年  
通勤・通学での自動車利用によって出される排気ガスは多量であり、渋滞が起こればなおさら深刻である。2030年には駅と学校・企業が連携して、自転車を貸し出すのがいいと思う。不法投棄された自転車、ゴミ処理場に送られた自転車、家庭で不要になった自転車を回収し、専用のステッカーを貼って利用する。駅、企業、学校の周辺に貸し出すための自転車専用の駐車場をつくり、管理する。  
しかし目的地まで行った自転車をどうやって駅に戻すのか。また、体が不自由で自転車を利用できない方はどうするか。排気ガスを出さない電気バスや路面電車で解決する。壁には折りたたみ式の座席を取り付ける。また、出入り口は広くし、スロープを用意する。そうすれば、体の不自由な方や車椅子の方でも利用できる。さらに、電気バスや路面電車を回送する際、同時に貸し出し用自転車を運ぶことができるのである。  
この取り組みによって自転車ゴミを減らし、大気汚染をなくすことにも役立つ。それだけでなく、買い物難民を減らすことや、就業が困難な方の仕事をつくることもできる。また、自分の力で自転車をこげばリフレッシュ効果も期待でき、健康な社会をつくることができるだろう。



「町中で発電」

阿部桃子さん 横浜市旭区・9歳・小学4年  
交通量の多い道路などに、発電できるシステムが埋め込まれていて、クルマが通っただけ、人が歩いただけ、犬が通っただけでも発電。  
街の中に普通に風車があって、川は流れるだけで水力発電もできる。  
雨水をところどころに貯める場所があって川に戻ったり、花や木に水をあげたり飲める。  
できた電気は、その町の人たちで使う。

### DNP 未来のワクワク賞



野本秋音さん 東京都渋谷区・8歳・小学3年  
平田和久姫さん 神戸市須磨区・13歳・中学2年  
私たちが考える「未来のあたりまえ」は家族が全員そろって1つの家にくらす事です。現在では、親と子という形でくらす家庭がほとんどだと思います。それを祖父母、親、子そして、親せきもふくめて1つの家にくらすことによって、たがいの様子をいつでも確認できます。しかし、多人数のくらす家となると、とても大きな家が必要です。でも、それとたくさんの人がいれば、みんなでお金を出し合うことができるので負担が少なくなります。そして一番の利点は、家族の仲を深めることができることです。仲を深めることによって協力することの大切さや素晴らしいことを知ることができ、社会での輪を広げることにつながり、私たちはとても良いことだと思います。



「優秀賞」 「家族が1つになることで」

### 花王 こころつながるくらし賞

● 黒川綾子さん 名古屋市中区・39歳・企画会社経営  
「モノより思い出」もいいけど、「モノの思い出」が受け継がれていく社会も素敵だと思う。モノにP i とすると、色んな思い出、ストーリーが映し出される。  
2030年のとある日曜日。来月に結婚を控えた結衣は、母から譲り受けた指輪の「思い出」を見ていた。ウェディングドレスをうっとり見ている女性。『あっ、おばあちゃん』  
50年前の祖母の結婚式の映像



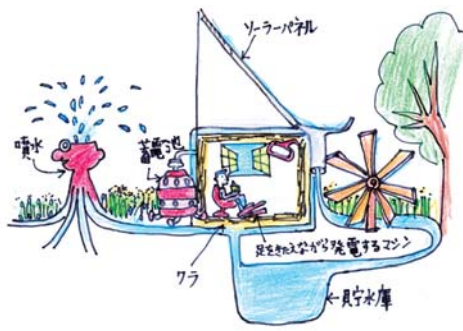
「モノの思い出を受け継いで」

### 日本リファイン 資源循環ネイチャー賞

● 水谷清乃さん 大阪市中央区・建築設計事務所経営  
「ノマドシートを持つて出かけよう。」  
2030年、スマートハウス化が進み、資源や労働の減少により時間の余裕が生まれる。人口減少で不要となった住宅ストックは自然に戻される。都市はコンパクト化し、果樹園やハーブ畑、野菜畑などを兼ね備えた自然公園が多く存在し、コミュニティの自給自足が可能となる。人々は、ノマド（遊牧）的に、時間・空間・自然をうまく利用し、農村・漁村での交流活動も活発になる。余暇には、ノマドシートを持ち外出、テントや日よけ・敷物・利用し、屋外で過ごす。人工光合成により酸素を発生させ、光・風や雨などの自然気象のわずかな動きをも感知してエネルギーに変えるノマドシートと、それを貯める軽量小型の蓄電池により、エネルギーは消費するものから、作り出す楽しみとなる。エネルギーは自宅や会社で利用、或いはコミュニティに寄付することにより、災害時にも役立つ。高齢者や子ども達でも簡単に使用でき、心豊かな共有的自給自足へと時代は向かう。

### 【優秀賞】 「未来×ハウス」

首藤敦志さん 愛媛県東温市・12歳・中学1年  
僕は、雨を利用して水車を回しエネルギーを得たり、地下に貯水庫を作ったり、家の壁が水が回るようにして涼しくしたり、噴水でキラキラ光ったり、小川が流れたり、スプリンクラーで稲に自動的に水やりができたたりする、ワクワクした家に住もうと思います。  
家のまわりに水があるととても涼しいです。僕の家の回りは田んぼなので夏でも冷房が入りません。  
また、壁や床にワラをたくさん敷きます。僕の家には、真冬でもサツマイモが腐らないよう貯蔵庫にワラをたくさんいれます。じいちゃん、ワラほど断熱作用があるものはないと思っています。  
電気は、ソーラーパネルと足をきたえながら発電するマシンで蓄電池に蓄えます。  
もちろん機械は故障もするので、僕は故障を直したり、改良したりできるように、大人になって本を読んだりして、理科の勉強をし続けます。



### NEC スマートエナジーライフ賞

● 小林進さん 川崎市多摩区・71歳・一級建築士  
一級河川多摩川の流量は、1日あたり約300万立方メートル。全国1万4000本の河川にこの数値を単純掛算すると、1日あたり約420億立方メートルの水が放流されていました。この自然エネルギーを有効利用する「水流発電チューブ」を各河川に設け、豊富な電力を河畔ゾーンに低価格で供給することが可能になり「住宅・工場・研究所」へベルト地帯が発展しました。  
工場・研究所は「沿線住宅街に役立つものを1年に一つ以上発明する」と電気代はただになります。いままでに人々の健康に配慮した発明は研究者・住民とのアイデアで・ジョギング・サイクリング道路電動アシスト自転車・車椅子レンタル・レジャー用電気モーターボート・外来魚発見、電動捕獲口ボット・電気湯沸露天風呂、温水プール等があり、沿線住民は河川が生み出す無限エネルギーの利用から生まれるサービスを楽しみながら「工場・研究施設」の方々と共同で新しいアイデアを毎日のように楽しんで提案しています。



### 積水インテグレートドリサーチ賞

● 村井陽介さん 川崎市中原区・41歳・会社員  
2030年、i P S細胞など医療技術の大進歩により、平均寿命が女性110歳、男性95歳の時代となった。60歳定年はなくなり、85歳程度まで仕事をするのは普通となった。これを実現するために、政府は世界に先駆けて46歳から47歳までの2年間、自分の好きな分野の教育を受けられる「折り返し年齢リフレッシュ教育制度」を導入した。45歳までを前半ワーク、48歳から後半ワークと呼ばれる。  
ただし、50歳以降の仕事は、気楽に、自分の好きな分野で、健康に役立ち、それまでの経験と知恵が役にたつことで、若者たちの仕事の良きアドバイザーとなることが原則だ。特に今までの仕事と異なる分野や資格を学ぶのが奨励され、文系が医療介護やIT関係の仕事を考えて、エンジニアは経営や芸術、工芸など、人生の多彩化、多能化を目指す様々な講座が用意された。国が授業料を全額負担し、生活費は政府、企業、年金制度が保障する。もちろん夏休みなどもある。この時期は旅行、電子出版、ボランティア活動などが、興隆を極めた。農業の仕事はセンターからの指示で働くロボットの仕事となり、田畑の横でのC a f eで、お茶を飲みながら読書をして、自分の田畑が耕されるのを見守って監督している。二年の期間が終われば、元の職場でもよいが、違う仕事、自営業を開始することがお勧めだ。もっとも大切なことは、若者たちとの協調・共生である。だから私なんか、今年、娘と同じ大学院へ入学し、机を並べて勉強している。まだまだ学ぶことはたくさんある。

### 「二級河川内水流発電チューブの豊富な電力で『職住娯』近接ライフを楽しむ」

### 100歳寿命時代の「折り返し年齢リフレッシュ教育制度」2030年

0～2歳は完全保育制度
3～20歳は若年教育期間
20～45歳は前半ワーク期間
46～47歳は折り返し年齢リフレッシュ教育制度期間
48～85歳は後半ワーク期間
86～110歳は健康ゆっくりエンジョイ生活期間（医療、食、住は国が補償）